

クラス	309	担当教員	板垣賢二
テーマ	子ども達とつくる楽しい授業 ～楽しく質の高い算数の授業とは～		
著書・論文	● 「私的算数授業試論 現実と算数数学をつなぐ架け橋その1	紙芝居と算数」	(『数学教室』14/10)
	● 「私的算数授業試論 現実と算数数学をつなぐ架け橋その2	実験ゲームと算数」	(『数学教室』14/11)
	● 「私的算数授業試論 現実と算数数学をつなぐ架け橋その3	教具と算数」	(『数学教室』15/1)
研究課題等	● 「割合から連続量の乗除、単位あたり量、比例・比へ 小学校高学年における連続量の乗除に関わる学習を、『1としてみる』認識を形成することを軸に一貫した授業を展開しようとする試み」(2018年第66回数学教育協議会全国研究大会レポート)		

ゼミナール概要

キーワード：算数科教育、楽しい授業、楽しい学校、紙芝居・実験・ゲーム・教具、授業論

目的

算数・数学教育を、今の社会・経済システムへ適応させるための人材育成の柱としてとらえるのではなく、すべての子ども達に豊かな人間性を育み、社会や自然を合理的に論理的にとらえ創造的に変革する力をつけるための権利主体者としてとらえ、具体的な授業作りに取り組みます。それは言い換えれば算数・数学を、疎外するものから、子ども達自身が授業の中で成長していくものへと取り戻す取り組みであるという意味で「子ども達とつくる楽しい授業」という本ゼミのテーマを設定しました。授業の「スタンダード化」や「新しい競争主義」が進行する今の学校にあって、算数・数学の理論的裏付けと確かな子ども理解に基づいた創造的で個性豊かな授業を創る力を身に付けて欲しいと願います。

また算数数学の授業に限らず、小学校での33年間の現場経験を生かし、学校や教育をめぐる様々な問題を現場に即して取り上げ、「楽しい授業、楽しい学校」についても具体的に考えていきたいと思えます。

内容

- 授業研究 ①教材研究 算数の教材をその学問的価値や系統性や発展性から幅広く比較検討し研究します。②教材開発 教材研究をもとに教具や実験、活動、ゲーム、物語(紙芝居など)を共同開発します。③授業化 子ども達が自ら考え話し合いたくなるような教材化や授業展開を考えます。
- 「楽しい授業、楽しい学校」とはどういうものか、テーマを設定して話し合います。
- 「子ども達とつくる楽しい授業・学校」を実現するための研究仮説を持ち、卒業論文にします。

方法

- 以上の内容について、主に『数学の学び方・教え方』(遠山啓 岩波新書)をテキストとして学び討議します。その際は、板垣の行ってきた授業実践や全国各地の授業実践も紹介します。できるだけ広く授業記録や文献を読んだり、実際の授業を参観したりし、ゼミで論議することで自分の問題意識をもち、学びを深め、仮説を立ててください。
- 現場の実践家の話を聴き交流をするために、できるだけ現場の実践に触れる研究会に参加することを勧めます。(適時遠隔研究会への参加、8/8,9 数学教育協議会全国大会(岐阜上山田)への参加を推奨)

授業計画

- 3年生 前半はテキスト中心の学習、後半は具体的な教材研究や授業開発を個人・グループで研究しレポートにして全体で発表し検討します。理論に裏付けられたゲーム、教具、お話作りなどの教材作りや楽しい学校にするための提案をします。後半で各自の卒論のテーマ(仮説)を決めます。
- 近隣の学校で実際に授業体験をします。
- 4年生 卒業研究の中間発表を集団で討議しながら進めます。随時みなさんと相談しながら進めます。

担当教員からのメッセージ

- ぼくは現場の小学校教員(実践者)でしたので「研究者」ではありません。しかしみなさんには、これからの2年間、しっかり「研究者」になって欲しいと思います。研究に没頭できる時間は、そうあるものではありません。ぼくもこのゼミを通して様々な論説や実践に出会い、自分の実践を検証し、共に学ぶ姿勢で臨むつもりですので、みなさん自身が研究を深めるというスタンスを取っていただきたいと思えます。
- 「学校が楽しくなかった」「自分は算数や数学は嫌いで苦手だった」という人こそ大歓迎です。その原因を見つけ何とかしたいという願いを持っている人の方が、課題を見つけることができるのかもしれませんが。僕も実は大学まで文系で今も数学がそんなに得意ではありません。でも数学が面白いと思っています。算数の授業が大好きです。いや、先生という仕事が大好きでした。楽しい授業学校作りが大好きです。
- 「楽しい授業」は「楽しい学級」「楽しい学校」の基本です。算数数学でなくても「子ども達とつくる楽しい学校」の実現のための研究をしたいという方も歓迎です。